

交換留学（派遣）近況報告書

.....

留学先大学：University of Essex
留学先での所属学部・研究科：Sociology
留学先での在籍身分：学部生
留学期間：2018 年 10 月～ 2019 年 6 月
神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部
学年（出発時）：3 回生
本報告書記入日：2018 年 12 月 27 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

☒ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> _____ <期間> _____

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

☐ 国際教育総合センターの教員 ☐ 所属学部・研究科の教員 ☐ 友人
☐ 以前に参加した先輩 ☐ 所属学部・研究科の掲示板 ☒ 神戸大学のホームページ
☐ 留学フェア ☐ その他（具体的に）_____

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

<u>3</u> 学術的な目的（研究を深める等）	_____ 地理的な条件が良い
<u>4</u> 語学力の向上	_____ 旅行ができる
_____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	_____ プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	_____ プログラムの期間が良い
<u>1</u> 異文化体験	_____ 経費が安い
<u>2</u> 個人的理由	_____ その他（具体的に）_____

1-4. VISA について

VISAの種類：Tier 4

申請先：イギリス

必要日数：約21日

VISA 取得にかかった費用：約7万（IHS保険料を含む）

VISA 申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

留学先の大学から送られてくるCAS number
パスポート
証明写真

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

特記事項なし

1-6. その他に必要なだった手続き、方法、料金等

特記事項なし

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社：JAL

利用旅行会社（航空券の手配をした会社）：JTB

留学先大学最寄り空港名：ヒースロー 空港

空港到着時間：7 時頃

空港からの移動手段：■大学手配の出迎え □知人の出迎え □公共交通機関 バス、鉄道 □タクシー

□その他（具体的に）

移動の所要時間・料金：120 分、約5000円

空港からの移動の際の注意点：

大学手配のバスは予約制です。席が埋まる前に早めに予約した方が良いです。
大学手配のバスは、出発時間が後になるほど遅延していたので、初日に買い物等したい場合は午前中に出発するバスを予約すると思います。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無：■有り □無し

参加について：■必須 □任意参加

参加費用：■無料 □有料（金額：）

内容について記入してください。

イギリスでの大学生活について。

Essex大学で受けられるサポート（international students 向けの授業等）の説明。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

VISA発行時に選択した住所にて後日BRPの受け取り。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

医療登録及び問診

任意のワクチン接種（脳炎など）

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

特記事項なし

留学先大学：University of Essex

留学先での所属学部・研究科：Sociology

留学先での在籍身分：学部生

留学期間：2018 年 10 月～ 2019 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：3 回生

本報告書記入日：2018 年 12 月 27 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

大学のホームページ
神大留学担当教員との面談**住居について**

- ・住居のタイプ：■大学寮 □アパート □ホストファミリー □その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名称：South Courts
- ・部屋の種類：■一人部屋 □二人部屋 □その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：□現地学生 □留学生（出身国：_____） □その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：■大学の斡旋 □自分で探した □その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：3 分，キャンパス内に併設
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

最寄りのスーパーまでバスで10分、徒歩で30分
大学併設の学生寮につき、本・文具・日用品は徒歩5分ほどのキャンパス内売店で購入可能。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

Full yearの留学生には入寮保障付き。
渡航前に住所は確定していた。**大学の授業について****1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：■出発前 ■到着後
- ・履修登録の方法：■On-line □International Office等の仲介 □その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：■無し □有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：■はい □いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Race, Class and Gender 人種、階級、ジェンダー	Dr Carlos Gigoux	2	30	30	講義1 時間、セミナー1 時間の授業です。readingの課題が毎週出されます。reading課題と授業前に公開されるペーパーで予習をしています。復習はオンラインで聞ける授業の録音等で行っています。レポート課題が学期末にあり、筆記テストが年度末にあります。
2	British Society and Culture イギリス社会と文化	Dr Jack McGowan	3	30	30	講義2 時間、セミナー1 時間の授業です。international students向けの授業で、院生も学部生も混合で受講しています。毎週readingとビデオ鑑賞での予習が前提となっています。グループでのプレゼンテーションとレポートがあります。
3	Hidden Histories: Class, Gender And The Rise Of British Democracy 隠された歴史：階級、ジェンダー、イ ギリス民主主義の勃興	Dr Amanda Flather	2	15	30	講義1 時間、セミナー1 時間の授業です。毎週readingの課題が出ます。レポート課題が1 学期間に2 回あります。
4	Multicultural Britain: A History イギリスにおける多文化共生： 歴史	Dr Matthew Grant	2	15	30	講義1 時間、セミナー1 時間の授業です。毎週readingの課題が出ます。レポート課題が1 学期間に2 回あります。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的に授業は講義とセミナーで構成されている。講義は大教室で行われ、セミナーは少人数に分かれて行われる。セミナーではグループディスカッションや積極的な発言が求められる。
現地学生は日本に比べ積極的な発言を行っているように感じる。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

エセックス大学での交換留学では社会学を中心に歴史学も勉強しました。社会学の授業ではイギリスの社会格差、特に階級社会や移民問題について学びました。講義だけでなくゼミ形式の授業に参加することで、イギリス人学生だけでなく様々な国からの留学生の意見を聞くことができ、より深くイギリス社会について考察することができました。また、イギリス階級社会について理解を深めるために歴史学では階級社会の歴史について学びました。神戸大学では履修することができなかった階級社会の歴史や、より専門的な社会学の授業を受講することで、専門分野の知識を深めることができました。

課外活動ではジャパニーズインターナショナルソサエティに所属しています。ソサエティには日本人だけでなく様々な国籍の学生も所属しています。毎週、習字や日本の食文化など様々なテーマで行われるイベントに参加しております。日本人にとっては当たり前であることも違う文化圏の人々にとっては興味深いものであるという発見があり、客観的に日本文化を見ることができます。

また、学内で開催された文化交流イベントやチャリティイベントにボランティアとして参加しました。文化交流イベントでは書道体験のアシスタントを行いました。チャリティイベントではガンの認識を広めるためのファンドレイジングを行いました。折り紙を販売し、募金者と一緒に鶴を折りました。どちらのボランティアも日本文化を通して人々と交流することができました。アニメやJ-Popだけでなく、日本の伝統的な文化も関心を持たれることが分かりました。海外で日本文化を紹介することは、日本で日本にいる外国人に日本文化を紹介することとは異なるものでした。特にヨーロッパにおいて日本の存在は大きいものではなく、日本に関心を持っていない人もたくさんいました。声をかけないと客がなかなか集まらないこともありました。しかし、そういった状況の中でもイベントを通して文化に関心を持ち、楽しんでもらえることができた時は達成感を感じました。これらの日本文化を通した活動に参加することで、自国の文化を客観的にとらえ幅広い視野を身につけることができたと思います。